



自由民主党市議団  
石橋 博

質問項目

◆児童生徒一人一人に応じたきめ細かな支援・指導を！  
◆ライフステージに応じたスポーツ活動のより一層の推進を！

児童一人ひとりの健やかな成長を願って！

長期欠席している児童・生徒は増える一方である。不登校等問題行動を未然に防ぐための方策は考えているか。

児童・生徒の自尊心を高めるための指導が大切である。手遅れになる前に適切に対応できるよう、教員への研修やスクールソーシャルワーカーの活用、対応マニュアルの作成等に取り組んでいく。

感情や自己肯定感を高めるための指導が大切である。手遅れになる前に適切に対応できるよう、教員への研修やスクールソーシャルワーカーの活用、対応マニュアルの作成等に取り組んでいく。

近隣市と連携し、外国の事前キャンプ誘致を！

「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催に向け、市民の気運をどのように高めていくのか。

オリンピック・パラリンピックの関連資料を集めて図書館に常設する。また、トップアスリートによるスポーツ教室や講演会を実施し、地域スポーツの振興と気運の醸成を図っていく。



自由民主党市議団  
蜂屋 健次

質問項目

◆教育委員会のあり方について

教育委員会の責任の取り方を考える

第三中学校で起きた保健体育未履修問題について、要因は3人の教員にあると説明しているが、教員から提出された週ごとの指導計画を教育委員会が見落とししていたことは都に報告したか。

教育委員会が細かく確認するものではない。それは都の教育委員会も認識している。責任の所在が明らかになっていないにも

かかわらず、なぜ3人の内の1人には学科の授業をさせないのか。

国で定めている指導内容を10年間実施していなかったことを重く受け止め、体育実技のみの担当とした。

今回の問題を契機に、当市の教育最高機関としてどのよう「教育」に取り組むのか。

各学校での教育課程の実施状況を的確に把握し、教育環境の充実を図っていききたい。



自由民主党市議団  
土方 桂

質問項目

◆都市基盤整備・都市計画道路について

災害に強く、まちの発展のための都市基盤整備を

25年から現在までの3・4・10号線の進捗状況を伺う。

東村山駅周辺まちづくり基本計画で、東村山駅付近の連続立体交差事業とあわせて整備していく広域幹線道路に位置付けた。

市民に広く知れ渡るよう、道に愛称をつけてはどうか。

道路整備にあわせて、今後、検討していきたい。

道路整備とまちづくりは一緒に進めるべきと考える。どのようなビジョンを持っているか。

東村山駅と久米川駅、秋津・新秋津駅を市の中心核に位置づけ、これらを結ぶ都市計画道路の整備を中心にまちづくりを行っている。

今後3・4・10号線などの道路整備を進め、安全・安心で活力と魅力あるまちづくりを進めていきたい。



ともに生きよう！ネットワーク  
白石えつ子

質問項目

◆環境に配慮した石けん使用指針を  
◆避難行動要支援者への災害時の対応

合成洗剤の成分はPRTR制度に指定されている

「エコオプティンプラ」ン東村山」に基づき、各課にエコリーダーがいる。化学物質排出移動量届出制度(PRTR制度)に関する研修等は行っているか。

避難に時間がかかる要支援者も地域での共助を

要支援者名簿の作成が義務づけられたが、登録者はどのくらいか。

27年度時点で、248名が登録している。

災害時は、健常者も障がい者も一緒に過ごすことになる。地域で共に助け合う合理的な避難所運営を具体的に想定しているか。

医療・福祉分野の方などの意見を参考に、模索していききたい。



ともに生きよう！ネットワーク  
大塚恵美子

質問項目

◆B型肝炎ワクチン接種の問題点について  
◆非正規雇用公務員のあり方について

打たない権利の保障をリスク・ベネフィットで

10月から乳児のB型肝炎ワクチンが定期予防接種になる。米国の予防接種後副反応報告システム(VAERS)では、B型肝炎ワクチンによる死亡者107人の内、832人が3歳以下である。これについて考えを伺う。

ワクチン接種で副反応が起こることにも認識している。予防接種の安全性や有効性、副反応等について丁寧な情報提供していきたい。

アレギー反応が出やすい乳幼児に必要なワクチンなのか。リスクや副反応はないのか。

重大な副反応に、アナフィラキシー

最終的には自己責任で選択してもらうため、リスクがあることは正しく伝えていく。

報道していきたい。

ややくらいの反応が出るワクチンなのか。リスクや副反応はないのか。

危険性を考え、「ワクチンを打たない権利」を保障すべき。見解は。

最終的には自己責任で選択してもらうため、リスクがあることは正しく伝えていく。



ともに生きよう！ネットワーク  
佐藤まさたか

質問項目

◆災害時の情報発信・伝達について  
◆沢の堀(秋津町)の現状と今後について  
◆中学校の全員給食化を重ねて求めて

ツイッターとスマホ版による発信の早期改善を

台風9号の際、市の公式ツイッターとホームページのスマートフォン版による情報発信には課題が残った。改善に向けた考えを伺う。

ツイッターは、職員が電話対応に追われて発信が遅れたが、その後は情報発信担当を確保した。スマホ版については、緊急時のお知らせを表示できるようシステムを改修し、台風10号には対応できた。

地域の声に耳を傾けて早期に沢の堀の通行再開を通行止めになって1年以上が経過した。安全が確認できた所から部分的に通行できないか。詳細に調査した上で決めていきたい。

地域にとっては交流、生きている場でもある。改修計画はいつ頃できるのか。

今年度中に方向性を定め、来年度以降、工事に着手していく。



公明党  
横尾 孝雄

質問項目

◆図書館のあり方とは  
◆歩車分離式信号の導入を目指し安全なまちづくりを

困ったら図書館へ目指し頼りになる図書館に！

色々本に触れることで、問題解決の糸口が見えてくる。「困ったら図書館に」と思ってもらえる図書館を目指してほしいが、いかがか。

図書館は、困った時に情報を得る場としての役割が大きい。資料の充実と職員の資質向上に取り組み、サービスの拡充に努めていく。

図書館のあり方について、さまざまな角度から議論してはどうか。

これまで、図書館の増額や中央図書館の開館時間を拡大してきた。今後も、事業運営等について図書館協議会に相談していく。

歩車分離式信号の導入を市として求める姿勢を！



公明党  
村山 淳子

質問項目

◆地域福祉コーディネーターの配置で支援の充実を

複雑な困りごと解決の調整役に専門職の配置を！

問題解決の調整役となる「地域福祉コーディネーター」を当市に配置する場合、どのような課題があるか。

支援が必要な方の早期発見、見守りや助け合いが行える地域づくりが必要である。また、これまで地域の課題解決に取り組んできた専門職との役割分担を整理することも課題として捉えている。

厚生労働省は、地域共生社会の実現を目指し、住民主体の課題解決や包括的な相談体制に地域福祉コーディネーター等の専門職の配置を想定している。当市も地域福祉コーディネーターの配置と養成を計画に定め、進めてはどうか。

国の検討経過や先導自治体の事例、当市の地域包括ケア・生活困窮者の自立支援の状況等を見ながら、今後、研究・検討していききたい。

進めてはどうか。

進めてはどうか。

